

グローバル部門

官民連携による マレーシア大規模下水道整備プロジェクト

ランガット下水道整備プロジェクト日本チーム

【プロジェクトにおける東京下水道の技術】

◆汚水・污泥処理の集約化と集中処理

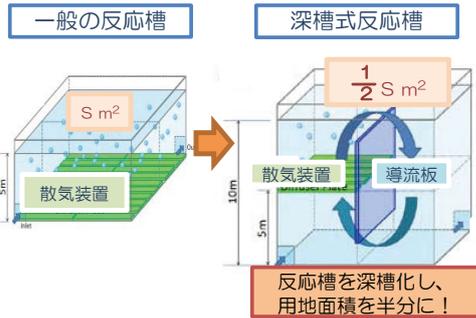
(現状)

多数の小規模下水処理場が散在し、維持管理が不十分で、河川の水質汚濁が進行

(将来)

1か所に集約した下水処理場で、効果的・効率的に汚水処理と污泥処理を実施

◆深槽式反応槽によるコンパクト化



◆プロジェクトの実現に至る経過

- 平成22年5月 下水道の実態調査を開始
- 平成23年3月 マレーシア全域の上下水道施設の再整備に関するマスタープランの提案
- 平成24年2月 機能不全にあったパンタイ処理場の維持管理指導
- 平成24年6月 マスタープランの実効性を検証するランガット地区でのモデルプロジェクトの提案
- 平成24年7月 政府間協議及びワークショップ開催
- 平成25年12月 技術提案書等の提出 (実態調査から十数回マレーシア訪問)
- 平成26年3月 マレーシア国政府職員による東京下水道施設の視察研修
- 平成26年10月 プロジェクト実現(契約合意)



▲処理場建設予定地の現場調査



▲マレーシアにおけるワークショップ



▲日本におけるマレーシア国政府職員視察研修

PRポイント！

本プロジェクトは、下水道管から処理場に至る下水道システム全体の設計、建設、維持管理を一括して実施するもので、我が国で初めて、官民連携により海外で獲得した大規模下水道インフラ整備事業です。平成22年より、国や関係機関等からの支援のもと、東京都下水道局、東京都下水道サービス(株)及び住友商事(株)の3者の豊富な技術と経験による提案等を行い、チーム日本で力を合わせ本プロジェクト受注に成功しました。

Key Person



下水道局国際展開
担当課長
井上 俊治

本プロジェクトには、マレーシアで初めて導入する技術を複数盛り込んでおり、マレーシア政府職員に東京下水道の技術の確かさや着実な維持管理の状況を理解して頂くこと大変苦労しました。

チーム日本のメンバーがマレーシアへ何度も足を運び、狭隘な処理場予定地に有効な東京下水道の処理技術等、マレーシアで実績がない技術の優位性を直接説明しました。また、日本にいられたマレーシア政府職員に提案した東京下水道の技術を現場で実際に見て確認して頂き、信頼を確保したことがプロジェクト実現に繋がりました。